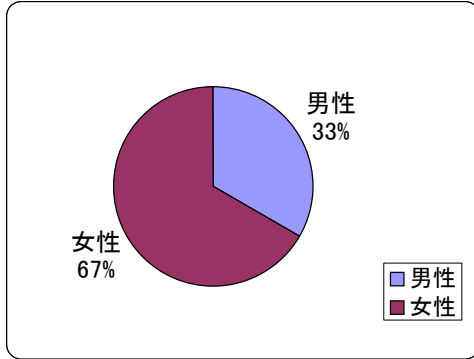
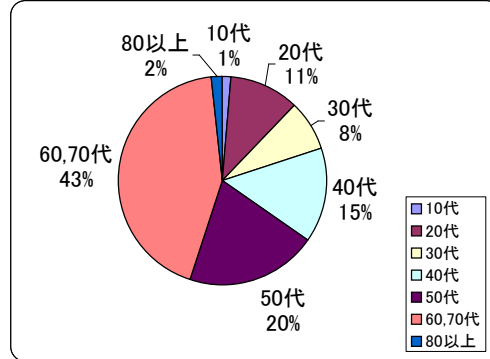


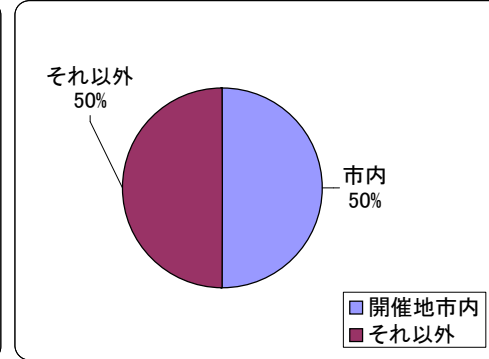
A1) 性別



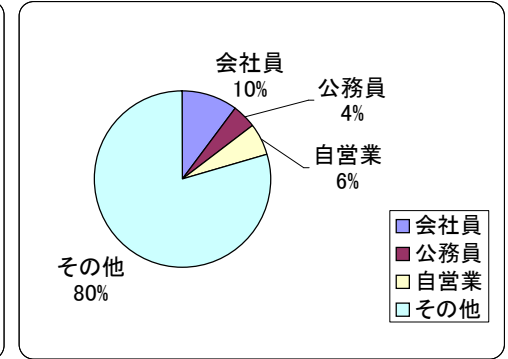
A1) 年齢



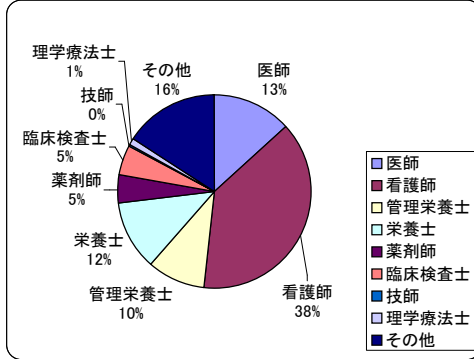
A2) 参加者住まいの地域



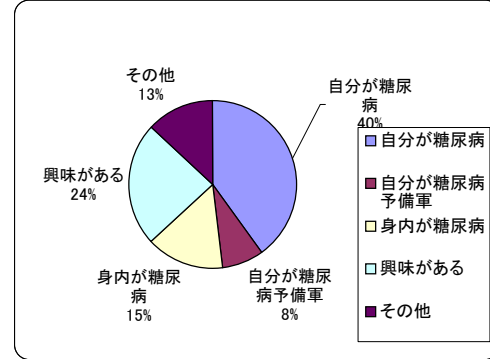
A3) 参加者職業



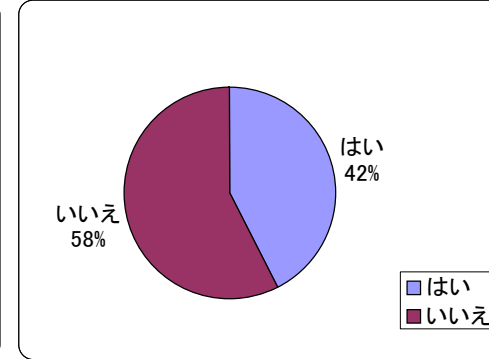
A3) 医療関係者(271名)



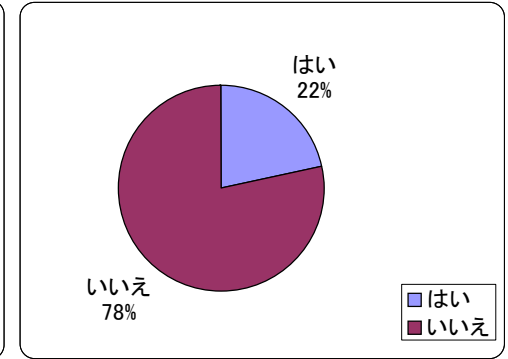
A4) 参加理由



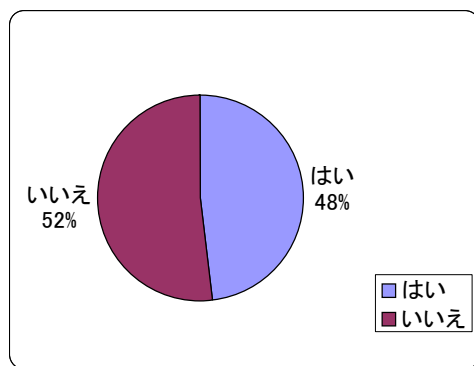
A5) 現在通院されていますか



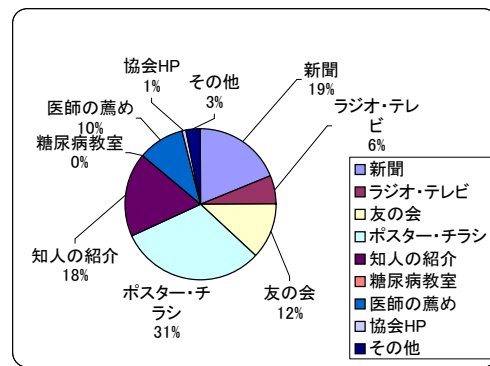
A6) 日糖協会会員ですか



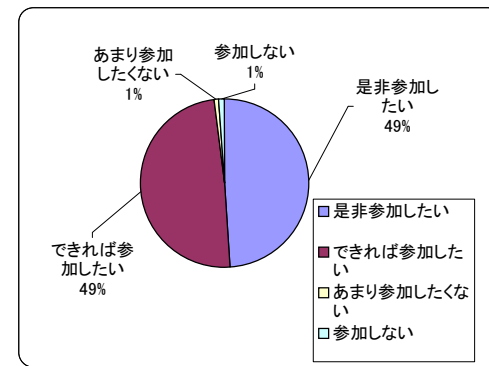
A6) 「いいえ」の方、日糖協に入会したいですか



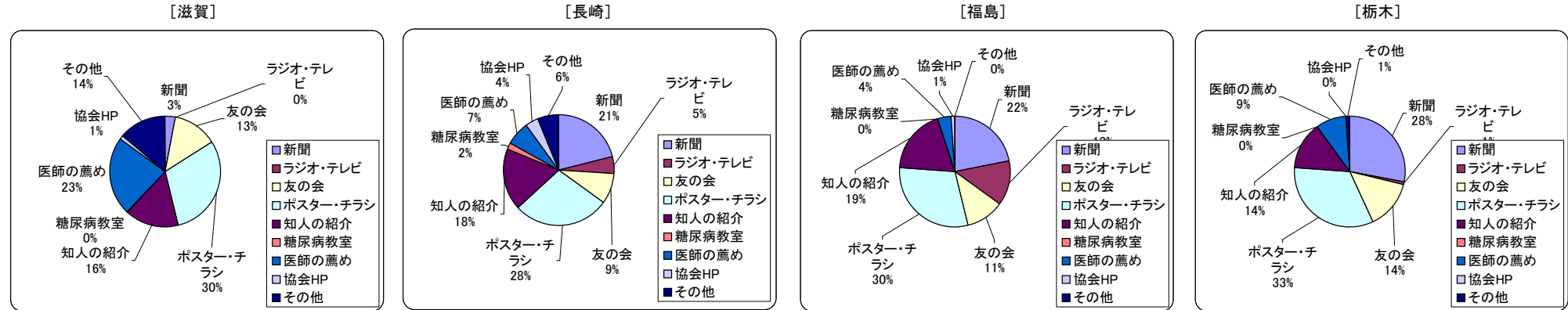
A7) シンポジウムを何で知りましたか



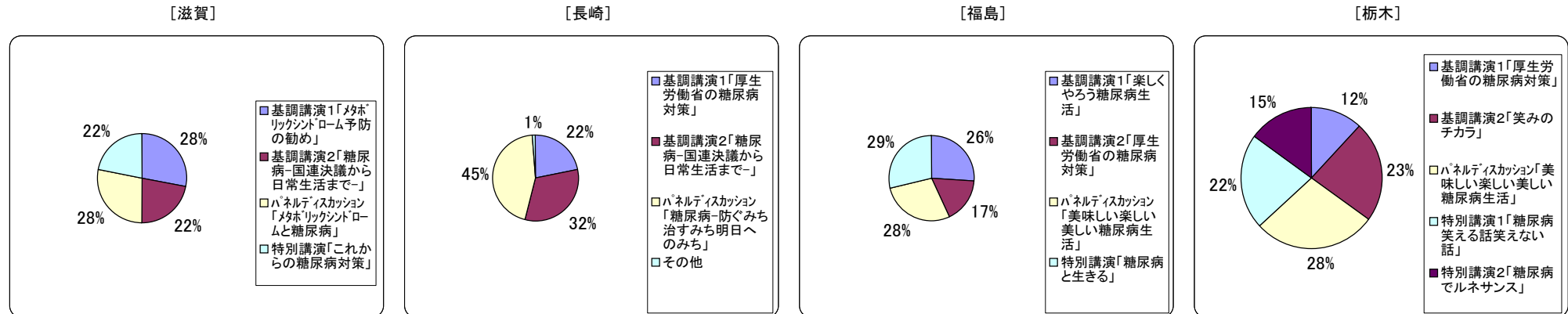
A8) 今後同ようなシンポジウムに



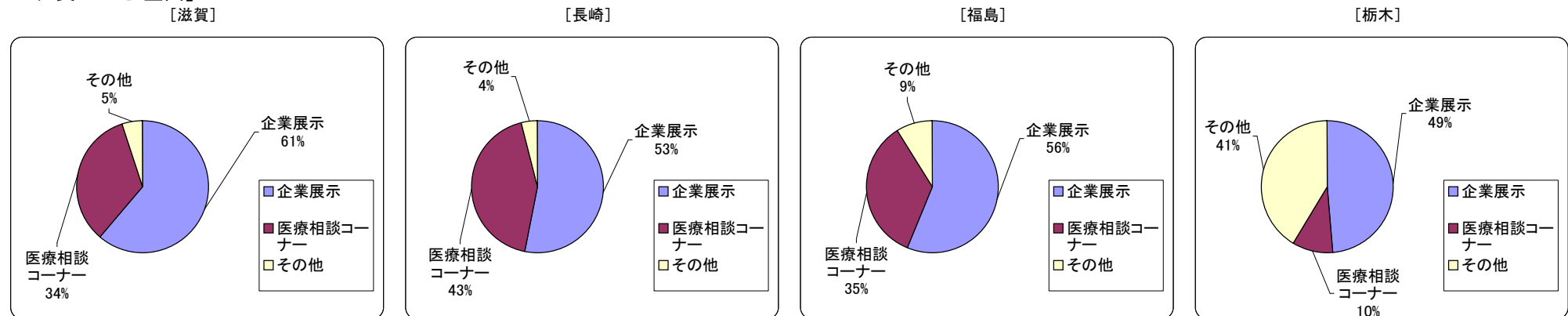
A7) シンポジウムを何で知りましたか



A9) 良かった「プログラム」



A10) 良かった「企画」



- ・ 性別では女性が全体の6割強を占めた。
- ・ 年齢別では61～80代が圧倒的に多く、43%を占めた。51～60代と合わせると全体の6割となり、年齢が上がるにつれ関心が深まるようであった。
- ・ 職業はその他が7割を占めたが、主婦および年齢別で61歳以上の参加者(大半は退職者か)がここに該当するためと考えられる。
- ・ 医療従事者の中では、看護師が4割弱を占めた。
- ・ 参加理由として、自分や身内に糖尿病があるからと答えた人が6割を越えた。糖尿病ではないが興味があるとした人は24%に留まった。
- ・ 参加者のうち、協会会員は20%に留まった。会員でない80%のうち、今後協会に入会したいかを尋ねたところ、約半数に及ぶ48%が入会したいと答えた。
- ・ シンポジウムを知った経路については、多い順に「ポスター・チラシ」(31%)、「新聞」(19%)、「知人の紹介」(18%)となり、各種出版物による周知効果が目立った。「友の会」と答えた人は12%であった。

#### 【滋賀】

- ・ シンポジウムを知った経路は順に「ポスター・チラシ」(30%)、「医師の勧め」(23%)、「知人の紹介」(16%)、「友の会」(13%)であった。
- ・ 良かったプログラムは、4つのプログラムがほぼ均等に分かれた。
- ・ 良かった企画は、企業展示が6割を超えた。

#### 【長崎】

- ・ シンポジウムを知った経路は順に「ポスター・チラシ」(28%)、「新聞」(21%)、「知人の紹介」(18%)、「友の会」(9%)であった。
- ・ 良かったプログラムは、パネルディスカッションがほぼ半数を占めた。
- ・ 良かった企画は、企業展示と医療相談コーナーがほぼ半数ずつであった。

#### 【福島】

- ・ シンポジウムを知った経路は順に「ポスター・チラシ」(30%)、「新聞」(22%)、「知人の紹介」(19%)、「ラジオ・テレビ」(13%)であった。
- ・ 良かったプログラムは、基調講演2がやや少なく、ほかの3つで票を分け合った。
- ・ 良かった企画は、企業展示が6割弱を占めた。

#### 【栃木】

- ・ シンポジウムを知った経路は順に「ポスター・チラシ」(33%)、「新聞」(28%)、「知人の紹介」(14%)、「友の会」(14%)であった。
- ・ 良かったプログラムは、基調講演1以外の3つで票を分け合った。
- ・ 良かった企画は、企業展示がほぼ半数を占めた。